



「にんげんをしあわせにするデザイン」企画展を開催 ～芸術工学研究院の最新研究情報を東京ミッドタウンから発信～

概要

「しあわせ×デザイン」をテーマに、九州大学大学院芸術工学研究院ならではの様々な視点で「しあわせ」へのアプローチを紹介し、デザインは私たちのしあわせの為に何が出来るのだろうか？ということ来場者の皆さんと一緒に考える企画展を開催します。実際に触れることができる廃材を利用した楽器、プロダクトデザインや建築、ゲームや映像、インタラクティブアートからデザイン・ストラテジーまで、芸術工学研究院の幅広い領域における最新研究を東京ミッドタウンから情報発信します。

目的

日本全体に閉塞感が漂っている中で、デザインの主たる目的のひとつである「人間を幸せにする」ということにフォーカスし、本研究院ならではのジャンルにとらわれない多角的なデザインアプローチにより、「しあわせ×デザイン」をテーマに、しあわせとは何かについて来場者の皆さんと一緒に考えることを目的としています。

内容

東京ミッドタウン・デザインハブ第25回企画展 「にんげんをしあわせにするデザイン」

【期間】2011年1月7日(金)～1月30日(日) 11:00～19:00 (期間中無休)

【会場】東京ミッドタウン・デザインハブ

(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F) ※入場無料

【会場デザイン】近藤 康夫 (デザイナー／大学院芸術工学研究院教授)

コミュニケーションデザイン

[アートディレクター] 齋藤 俊文 (クリエイティブ・ディレクター／大学院芸術工学研究院准教授)

[デザイナー] 木住野 彰悟 (6D) <http://rokud.com/>

【主催】東京ミッドタウン・デザインハブ

【企画・運営】九州大学大学院芸術工学研究院 <http://www.design.kyushu-u.ac.jp/>

【展示テーマ】しあわせな照明／心身に親和する木材／人間をしあわせにする住まい／「僕たちはみんな繋がっている。そしていつまでも続く」生命の家プロジェクト、千の螺旋ハウス／地球のためのロボティクスデザイン／岡田栄造キュレーション「肖像」／地下鉄七隈線のユニバーサルデザイン／運動障がい児のためのワンクリックインターネットブラウジングソフト／色覚異常者のための色彩配色ソフト／不思議さ、人を夢中にさせるデザイン／生き物を表現するデバイスディスプレイのデザイン／廃材でしあわせになる～サウンド・リノベーションの試み／スケールという観点～建築を通じたモノと人間の関係／「だんだんボックス」プロジェクト／小石原焼 COCCIO プロジェクト／スマートグリッド時代のエネルギーインフラシステム&プロダクト／しあわせとふしあわせのあいだ／シアワセズカンなど

【関連イベント】

■2011年1月7日(金) 17:00～18:00 サウンド☆リノベーション ～展示廃材楽器の即興演奏～
(会場にて実施／無料／事前申込み不要)

【関連セミナー】

会場：インターナショナルデザインセンターor 東京サイト（デザインハブ内）

参加費：全セミナー受講無料

■2011年1月17日(月) 19:00～20:30 「『聴くこと』からはじまる世界」

藤枝 守（作曲家／九州大学大学院芸術工学研究院教授）

■2011年1月18日(火) 19:00～20:30 「人に優しいデザイン」

佐藤 優（視覚記号、サイン・景観／九州大学大学院芸術工学研究院教授）

■2011年1月19日(水) 19:00～20:30 「杉材との新しいつきあい方」

綿貫 茂喜（感性科学・生理人類学／九州大学大学院芸術工学研究院教授）

■2011年1月21日(金) 19:00～20:30 「インタラクティブデザインで心をくすぐる」

富松 潔（インタラクティブデザイン／九州大学大学院芸術工学研究院教授）

■2011年1月24日(月) 13:30～15:00 「グリーンエネルギーが社会を変える」

学生によるプレゼンテーション

■1月28日(金) 19:00～20:30 「照明でオフィスワークとナイトライフをしあわせに！」

安河内 朗（生理人類学、人間工学／九州大学大学院芸術工学研究院教授）

※詳細は別紙を参照願います。

■効 果

本研究院の最新の研究情報を東京ミッドタウンで発信することにより、来場者の皆さんにしあわせな気分を味わっていただき、また、関東圏内における本研究院の知名度を向上させ、新たな受験生の獲得やアジアを含めた学生との相互交流、あるいは企業との新規共同研究の獲得などを目指しています。

■今後の展開

今回の企画展を通じて、来場者に「しあわせ×デザイン」について様々な気づきを体感していただき、将来に向けた本研究院との繋がりを広げていくことにより、今後の教育研究にフィードバックしていきたいと考えています。

【お問い合わせ】

九州大学・芸術工学東京サイト（担当：津留／照井）

東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5F デザインハブ内

TEL:03-3408-9920 FAX:03-3408-9921

E-mail: g-parn@design.kyushu-u.ac.jp

URL: www.design.kyushu-u.ac.jp/g-parn/

九州大学は2011年に100周年を迎えます



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011
知の新世紀を拓く



東京ミッドタウン・デザインハブ
〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1
ミッドタウン・タワー5F

Tokyo Midtown Design Hub
5th floor, Midtown Tower,
9-7-1 Akasaka, Minato-ku,
Tokyo Japan 107-6205

TEL 03-6743-3776
Fax 03-6743-3778
<http://www.DesignHub.jp>
info@designhub.jp

2011年12月20日
九州大学・芸術工学東京サイト

東京ミッドタウン・デザインハブ第25回企画展
「にんげんをしあわせにするデザイン」
2011年1月開催 / セミナーのご案内

にんげん をしあわせ にする デザイン

東京ミッドタウン・デザインハブ(構成機関:(財)日本産業デザイン振興会/(社)日本グラフィックデザイナー協会/九州大学・芸術工学東京サイト)による、「しあわせ×デザイン」をテーマに、芸術工学の視点から様々な「しあわせ」へのアプローチをご紹介します。しあわせとは何だろう?デザインは私たちのしあわせの為に何が出来るだろう?ということを考える、デザインハブ第25回企画展「にんげんをしあわせにするデザイン」(会期:2011年1月7日(金)~1月30日(日)/企画・運営:九州大学大学院芸術工学研究院)。

建築やプロダクトデザイン、ゲームや映像、インタラクティブアートから音に関するデザイン、またデザイン・ストラテジーまで、幅広い領域における芸術工学研究の現在とデザインを展示、ご紹介する本企画展ですが、会期中、展示のテーマに関連した、九州大学大学院芸術工学研究院の研究者による、魅力的なセミナー(無料)を実施いたします。研究者の専門領域は日頃なかなか馴染みのない印象もありますが、「しあわせ×デザイン」というテーマを通じて、わたしたちの日々の生活に「研究/学問としてのデザイン」がどう役立っているのかをわかりやすくお話しいたします。

企画概要

名称: 東京ミッドタウン・デザインハブ第25回企画展「にんげんをしあわせにするデザイン」
開催期間: 2011年1月7日(金)~1月30日(日) 11:00~19:00 期間中無休
会場: 東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)
入場料: 無料

会場デザイン: 近藤康夫(デザイナー/九州大学大学院芸術工学研究院教授)
コミュニケーションデザイン:
アートディレクター: 齋藤俊文(クリエイティブ・ディレクター/九州大学大学院芸術工学研究院准教授)
デザイナー: 木住野彰悟(6D)

主催: 東京ミッドタウン・デザインハブ
企画・運営: 九州大学大学院芸術工学研究院 <http://www.design.kyushu-u.ac.jp/>

展示テーマ: しあわせな照明 / 心身に親和する木材 / 人間をしあわせにする住まい / 「僕たちはみんな繋がっている。そしていつまでも続く」生命の家プロジェクト、千の螺旋ハウス / 地球のためのロボティクスデザイン / 岡田栄造キュレーション「肖像」 / 地下鉄七隈線のユニバーサルデザイン / 運動障がい児のためのワンクリックインターネットブラウジングソフト / 色覚異常者のための色彩配色ソフト / 不思議さ、人を夢中にさせるデザイン / 生き物を表現するデバイスディスプレイのデザイン / 廃材でしあわせになる~サウンド・リノベーションの試み / スケールという観点~建築を通じたモノと人間の関係 / 「だんだんボックス」プロジェクト / 小石原焼COCCIOプロジェクト / スマートグリッド時代のエネルギーインフラシステム&プロダクト / しあわせとふしあわせのあいだ / シアワセズカンなど

【イベント】

1月7日(金) 17:00~18:00 サウンド リノベーション ~展示楽器によるデモ演奏~

会場: 東京ミッドタウン・デザインハブ(参加無料/事前申込み不要)

展示作品である「廃材を利用した楽器」を用いた演奏会。ご来場の方々も実際に楽器に触れていただくことができます。

【セミナー】

1月17日(月) 19:00~20:30 『聴くこと』からはじまる世界」

藤枝 守(作曲家/九州大学大学院芸術工学研究院教授)

20世紀以降、視覚が優先される生活や文化の営みが展開するなか、「聴くこと」に着目することでどのように日常が違って感じられるのか。金沢21世紀美術館やICCギャラリーでのサウンド・インスタレーションや、簡単なワークショップを通じて、「聴くこと」からはじまる世界に触れてみましょう。

1月18日(火) 19:00~20:30 「人に優しいデザイン」

講師: 佐藤 優(視覚記号、サイン・景観/九州大学大学院芸術工学研究院教授)

1月19日(水) 19:00~20:30 「杉材との新しいつきあい方」

講師: 綿貫 茂喜(感性科学・生理人類学/九州大学大学院芸術工学研究院教授)

杉材は、私たちに親しみのある材料ですが、最近はその需要が減少しています。その原因の一つとして、杉材が人間にどのような生理的效果を与えるのかという客観的な事実が明らかにされていないということがあります。当研究室では、木材の揮発成分や光の吸収特性と生理反応との関係から、杉材の生理的效果を検討しています。その結果、杉材は生理的に良い効果を与えるようです。杉材を適切に利用することで、健康な生活が得られると思われれます。

1月21日(金) 19:00~20:30 「インタラクションデザインで心をくすぐる」

講師: 富松 潔(インタラクションデザイン/九州大学大学院芸術工学研究院教授)

人間の特性にあったインタラクションモデル

マーク・ワイザーの論文「デザインングカムテクノロジー」では、大量複雑なハイテクシステムの情報提示をユーザが今必要な情報に気づき注意を集中させるようなデザインが提案されています。「カムテクノロジー」は人間の特性にあったインタラクションモデルをシステムに適用させる提案でした。ドナルド・A・ノーマンは「注意の周辺と中心モデル」「馬と御者のモデル」「沸騰やかんモデル」「オランダの自転車と歩行者モデル」として解説しています。

富松研究室では「解釈をゆさぶるモデル 主観座標系モデル」としてOLE Coordinate Systemを紹介しています。このモデルはユーザの興味、好奇心に繋がり、複雑な操作のモチベーションに繋がっています。無限回廊、無限回廊2

「身体接触を用いたインタラクションモデル Freqtric Project」は親密なコミュニケーションを誘発しています。

「形状記憶合金を用いた3次元モーションディスプレイ ひまわり、テンタクルズ」は草木のなびきや、イソギンチャクの触手のような「動き」のディスプレイを提案しています。

セミナー終了後、レセプションを予定しています。

1月24日(月) 13:30~15:00 「グリーンエネルギーが社会を変える」/学生によるプレゼンテーション

今世界が注目している次世代電力網「スマートグリッド」

背景には世界的なCO2の削減があり、効率的なエネルギーの需給バランスはもとより、太陽光発電や風力発電等のグリーンエネルギーの活用やスマート住宅、電気自動車等、新たなプロダクトや生活インフラが登場しようとしています。これらの動向により、私たちの生活は固定電話が携帯電話に変わった時のような、大きな変革期を迎えようとしています。

そこで、近未来の私たちの生活と電気エネルギーの関係を見直し、「スマートグリッド時代のエネルギープロダクトとサービス」というテーマで、大学院生を中心とした3つのグループによる提案を行います。

1. エネルギーインフラとプロダクト「電気を自由にコントロールする未来の電気メーター」

2. エネルギーインフラとサービス「心と心をつなぐ未来の電力計サービス」

3. エネルギープロダクト「電気と人をつなぐ未来のエネルギープロダクト」

これらの提案は、私たちの近未来の生活や社会のあり方を示唆しています。

1月28日(金) 19:00~20:30 「照明でオフィスワークとナイトライフをしあわせに!」

講師: 安河内 朗(生理人類学、人間工学/九州大学大学院芸術工学研究院教授)

人類史の大半を占める狩猟採集生活の環境に適応した私たちのからだだが当時とは全く異なる人工環境下に身を曝していることを背景に、照明のヒトへ与える非視覚的影響について考え、オフィスワークとナイトライフの照明のあり方を提案します。

従来の照明研究は視認性や明るさ感、快適感といった心理的評価が主でしたが、ここでは心理とは独立して働く光の非視覚的影響について考えます。

会場: デザインハブ内インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターまたは九州大学・芸術工学東京サイト

対象: 一般

参加費: 無料

本企画展/セミナーに関するお問合せ

九州大学・芸術工学東京サイト(担当:津留/照井) www.design.kyushu-u.ac.jp/g-parn/

東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F デザインハブ内

TEL. 03-3408-9920 FAX. 03-3408-9921 E-mail: g-parn@design.kyushu-u.ac.jp



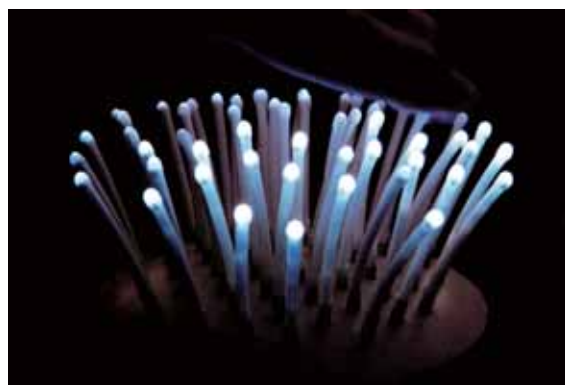
廃材でしあわせになる ~サウンド・リノベーションの試み



PS3用ゲームソフト「無限回廊 光と影の箱」



HIMAWARI



TENTACLES



小石原焼COCCIOプロジェクト